

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会広報誌・平成 26 年 3 月号



# 猿ヶ石川通信

## Vol.6

第 1 面 トピックス	平成 25 年度田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会総会開催
第 2 面 ニュースファイル	岩洞湖ワカサギ釣り視察レポート、水源地域セミナー
第 3 面 インタビュー	北上川ダム統合管理事務所長：西條一彦さん、野鳥コーナー
第 4 面 インフォメーション	第 2 回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会、砥森山山開き、他

### 猿ヶ石川流域トピックス



平成 25 年度田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会総会

## 田瀬ダム完成 60 周年事業承認

### 推進協議会構成団体代表等 41 名が

### 平成 26 年度の事業計画などについて協議

小田島峰雄会長を  
議長に協議を進める

平成 25 年度の田瀬ダム  
水源地域ビジョン推進協  
議会総会が、2 月 20 日（木）  
田瀬振興センター講義室  
にて開催されました。

総会では、先ず主催者で  
ある協議会会長の小田島  
峰雄氏が挨拶。その後、推  
進協議会顧問である北上  
川ダム統合管理事務所長  
の西條一彦氏、遠野市長代  
理の遊田啓悦環境整備部  
長が挨拶をしました。

その後は、小田島会長を  
議長として、①ビジョン推  
進にかかわる平成 25 年度  
の取り組み状況②推進協  
議会構成団体、事務局、規  
約の変更③田瀬ダム水源  
地域ビジョンの見直し④  
平成 26 年度活動計画の 4  
項目が協議されました。

#### アンケート結果を下に ビジョンの見直しも

主な協議の内容は以下  
の通りです。②の規約の変  
更としては、これまで設置  
されていた部会が機能し

#### 60 周年記念として 10 の事業を承認

④の平成 26 年度の活動  
計画については、これまで  
3 回開かれた田瀬ダム完  
成 60 周年記念プロジェク

ト運営会議で協議された  
内容が提案されました。

具体的には、①第 2 回  
田瀬湖一斉清掃&ごみ川  
柳大会②砥森山山開き③  
第 27 回田瀬湖湖水まつり  
ウォータースポーツフェ  
スティバル④第 2 回マイ  
リバー猿ヶ石⑤小学生の  
田瀬ダム一日所長体験⑥  
田瀬のみのもりまつり&移  
転者交流会⑦第 6 回みち  
のくダム湖サミット in 田  
瀬⑧関連イベント⑨田瀬湖  
ウォーキング大会⑩田瀬  
湖水上ワカサギ釣り大会  
⑩田瀬湖情報発信事業と  
いう 10 の事業です。

この他に、①猿ヶ石川再  
生プロジェクト、②猿ヶ石  
川カッパの川ながれ大会  
実施検討調査、③水源地域  
セミナー、④広報誌『猿ヶ  
石川通信』発行について  
も、昨年度同様に継続する  
ことで承認されました。

協議終了後は、意見交換  
が行われ、各団体が活動状  
況を報告。また、アドバイ  
ザーの高橋薫富士大学教  
授より、60 周年記念プロ  
ジェクトについて貴重な  
助言をいただきました。

## 猿ヶ石川流域ニュースファイル



岩洞湖レストハウス内は、ワカサギ釣り情報や関連グッズが並んでいる。

### 岩洞湖ワカサギ釣り 視察レポート

2月12日(水)、田瀬湖釣り公園の管理をしている田瀬振興公社スタッフ等田瀬地区民とビジョン事務局7名にて、岩洞湖(盛岡市玉山区)のワカサギ釣りの視察を行いました。

天候は快晴に恵まれ、7人に乗せた車は岩洞湖へ向い北上。岩洞湖レストハウスに11時頃に着くと、平日にも関わらず、湖上には色とりどりのテントが並んでいました。

まずはレストハウス内を見学。ここでは、ワカサギ釣りに関する様々な情報が掲示されている他、売店ではワカサギ釣り道具の販売やレンタルもされています。中には、岩洞湖のワカサギでつくった魚醤も売られていました。



わかさぎ魚醤。

いうことで、名物の「行者ニンニクラーメン」とワカサギの天ぷらをいただきました。

食後は、レストハウスの隣にある岩洞湖漁協詰め所へ移動。岩洞湖漁協組合長の佐藤圭氏等に、岩洞湖のワカサギ釣りの状況について説明していただきました。

岩洞湖では、ドーム船を活用したワカサギ釣りを本格的に導入。湖が結氷していない期間でも釣り客が来るようになり、大幅な収入アップにつながっているとのこと。「田瀬湖でもぜひやってください。」と助言いただきました。

説明後は、詰め所の前にある浮き棧橋を渡り、ドーム船を見学。



浮き棧橋を渡りドーム船へ。



ドーム船内の釣りの状況を見学。

は、園芸用のビニールハウスが湖面に浮いているもの。岩洞湖では現在4つのドーム船を使用。ドーム内はストーブがついていて暖かく、床板の一部を外すと、そこから釣り糸を垂らして釣りが楽しめます。中にはカーペット敷きのドームもあり、寝転がってもできそう。子供連れでも、これなら安心。貸し切りもできるそうで、会社などの釣り大会企画なども面白そうです。



カーペットが敷いてあるドーム船は快適。

ドーム内には若いカップルの釣り客や、本格的な魚群探知機持参の釣り客も。一行は興味深げに釣り客に道具の使い方などを質問。それぞれ大いに刺激を受けて帰ってきました。



釣り客の説明を真剣に聞く視察団一行。

### グリーンツーリズムをテーマにセミナー開催

2月20日(木)田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会総会終了後、「グリーンツーリズムの今・未来」と題する水源地域セミナーが開催されました。

セミナーでは、最初に猿ヶ石川流域でグリーンツーリズムを実践しているNPO法人遠野山里暮らしネットワーク理事の浅沼亜希子さん、東和町グリーンツーリズム運営協議会代表の藤井輝雄さん、

北上川フィールドライフクラブ代表の白畑誠一氏が、それぞれの活動事例について発表しました。

その後は、NPO法人遠野山里暮らしネットワーキ代表の菊池新一氏による講演。新一氏は、グリーンツーリズムとの出会いから、遠野にグリーンツーリズムを根づかせるために行ってきた様々な事例を紹介しました。

以前グリーンツーリズムは理屈中心の男性が主体で、「男のロマン女のフマン(不満)」と言われてきたそうです。これからは女性を主役にした『女のロマン男のガマン(我慢)』への転換が成功へのカギ」と話し、参加者も納得の様子で聞いていました。



水源地域セミナーの事例発表の様子。

# 猿ヶ石川流域インタビュー



## 北上川ダム統合 管理事務所長

西條 一彦(さいじょう かずひこ)さん

昭和 31 年、宮城県石巻市の農家に生まれ育つ。石巻工業高校土木課卒業後、建設省(現在の国土交通省)に入省。初任地は御所ダム工事事務所。その後、宮城県の七ヶ宿ダム工事事務所、福島工事事務所、岩手河川国道工事事務所など宮城・福島・岩手を 13 回転勤。この間に 2 年間石巻市へ出向の経験も持つ。昨年 4 月に釜房ダム管理所から転勤し現職に就く。趣味はスポーツ観戦、ゴルフ。モットーは「以和為尊」(和をもって尊しとなす)。

### 北上川とは 縁があるんです

私は石巻の代々の米農家に生まれ育ちました。家は北上川のすぐ近くで、私が今度ここ(北上川ダム統合管理事務所)に来たというのも、何か北上川とは縁があるんですね。

この仕事は、北上川の 5 つのダム(四十四田、御所、湯田、田瀬、胆沢)の管理。主要な仕事は、水量調節です。大雨の時は下流の川が溢れないように、渇水の時は田んぼや水道水が不足しないようにコントロールしています。

去年も大雨の災害があつたんですが、ちょっと間違うと下流の浸水被害が起きる。緊張しますし、責任が重い仕事です。このようなダムの役割について、もつと一般の方々に知っていただきたいと思っています。

そして、ダムにも限界があるので、防ぎきれないことがあることも知っていただきたい。昨年 8 月の大雨で、盛岡市に避難勧告が

出されたんですが、実際には 7%しか避難しなかった。近年は雨の降り方も以前とは違ってきているので、警戒が必要です。

### みんなこの地域が 好きなんですよ

猿ヶ石川流域には、以前岩手に勤めていた時に、何度か来たことがあります。第一印象は「遠かった」。そして、自然環境に恵まれた地域だと感じました。

昨年 4 月に、「田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会」に参加しましたが、随分いっぱいの方が参加していたのでびっくりしました。環境についての意識が強い地域なんだと思いました。これからも、上下流の交流という点で、もつと多くの方に参加していただきたいと思っています。

先日は、田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会の総会に参加させていただきました。いろいろ人達がそれぞれに自信を持って活動している。みんな、この地域が好きなんですよ。だから、活動が

継続されているんだと思います。

### これからの 60 年を どうしていくのか

今年は田瀬ダムができて 60 年を迎えるわけですが、今までの 60 年をしっかりと見つめ直すこと。そして、「これからの 60 年をどうしていくのか」が一番だろうと思います。ダム自体

の管理も含めてです。それには、遠野・花巻市民に田瀬湖の水の状態を知ってもらうことも大切ですね。田瀬湖のきれいな水を復活させて、もう一度田瀬湖を活用して遊んでいただきたい。

ダムとしても、ホームページで広報するなど、多くの方に田瀬湖へ来ていただけるよう協力していきたいと思っています。

### 自然ウォッチング 猿ヶ石川の野鳥 File No. 6



ホオジロガモ(ガンカモ科 全長:♂ 47cm ♀ 40cm)

雌雄とも頭の形が三角形と特徴的で、オスの頬に白い模様があることが名前の由来。冬鳥として渡来し、猿ヶ石川では毎年つがいで 5、6 羽見られ、もぐって魚や水生昆虫などをとる様子が観察できます。(写真提供:とうわ野鳥の会)

5/5

猿ヶ石川流域の霊峰へ一緒に登ろう！  
**砥森山山開き** (田瀬・宮守・鱒沢合同)

田瀬ダム完成 60 周年を記念して、かつて行われていた「砥森山山開き」を復活することになりました。山頂では、地域の安全祈願と五穀豊穡を願っての神事を執り行います。その後は、かつて山頂近くに小屋があったスペースにて交流会を行い、地元神楽団体による権現舞も予定されています。

砥森山は山頂が標高 670m で、時間さえかければ、小さな子供でも登れる山です。この日は大勢の人が登りますので、これまで登ったことのない方は、この機会にご一緒にいかがでしょうか。

【内容】 平成 26 年 5 月 5 日(月・祝)

砥森山山頂神事：午前 11 時～

交流会(山頂付近)：午前 11 時 30 分～

\* 登山口の駐車スペースに限りがありますので、車でお越しの際は、乗り合わせするなどして参加下さいませ。十分な飲み物、食料、雨具、着替えを持参下さい。

【問い合わせ】 田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会事務局

☎&FAX 0198-64-2250(千葉)



砥森山山頂からは遠くの山々まで一望できます。

猿ヶ石川流域インフォメーション

4/27

川柳入選者には今年も賞品多数あり！

第2回

田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会

昨年は、小さな子供からおじいちゃん達まで総勢約 130 名に参加いただき、約 1.5 トンのゴミを拾うことができました。

今年は田瀬ダム完成 60 周年記念

プロジェクトの第 1 弾として、より盛大になりそうです。開会式では、地元田瀬地域の若者達による「田瀬激流太鼓」が勇壮な太鼓を披露。昨年より協賛団体も増えそうなので、川柳の入賞者が増えそうです。あなたも一句ひねって、賞品をゲット。

このイベントは、猿ヶ石川流域の上流と下流の市民が一同に会し、共に汗しながら環境問題に取り組むという貴重な機会です。清掃活動に参加し、その苦勞を知った人は「ゴミを捨てない人」にきつとなるはず。そういう意味では、体験を通じた環境学習の場にもなります。がんばってゴミ拾いを終わったら、今年も田瀬地区のお母さん達が作った美味しい豚汁をいただきます。

午後からカヌーやボートの無料体験もできますので、希望



の方はおにぎりなどご持参下さい。ゴミ拾いして、きれいになった田瀬湖を湖上より観察することができますよ。楽しみながらのイベントですので、ご家族連れで気軽にご参加下さいませ。

【日時】 平成 26 年 4 月 27 日(日)

午前 8 時 30 分：受付開始

午前 9 時～ 11 時：開会式・清掃活動

午前 11 時～ 12 時 20 分：ごみ川柳大会・閉会式

午後 1 時～ 3 時：田瀬湖カヌー・ボート体験(希望者)

【集合】 東和 B&G 海洋センター (Tel 0198-44-5336)

【参加費】 無料

\* 軍手やゴミ袋は用意してあります。清掃活動ができる服装、履物でご参加下さい。また、小雨決行ですので、天候が思わしくない場合はカッパをご持参下さい。

【問い合わせ】 田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会事務局

☎&FAX 0198-64-2250(千葉)

Q

川の生き物で水質を調べ  
 方法とは？

川  
 豆  
 辞  
 典

A

川にすむ生物は、水に溶けている酸素(溶存酸素という)の量や水質との関係で、自分に合った環境の水辺にいます。そこにすんでいる生物を調べることで、水質などの川の環境がわかります。それを教えてくれる生物を「指標生物」といい、この生物を使って水質を調べる方法を「生物学的水質判定法」といいます。全国水生生物調査では、29 種類の「指標生物」を用いて、「きれいな水」から「大変きたない水」まで 4 つの階級に分けて調べています。

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会通信 Vol.6

「猿ヶ石川通信」平成 26 年 3 月号

発行日：平成 26 年 3 月 18 日

発行：田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会

☎ 028-0123 花巻市東和町田瀬 39-1-3

☎ 0198-44-5211

編集：一般社団法人いわて流域ネットワーク

問合せ：☎ & FAX 0198-64-2250 (千葉)

E-mail:pahaya@tonotv.com

これらの行事を一つひとつの芽が出てくればいいなあと思います。60 年後の未来に向かって。(千葉)

編集後記

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会の総会も終わり、田瀬ダム完成 60 周年記念事業が本格的にスタートします。

最初の一大イベントが、昨年からは始まった「田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会」。その後は、「砥森山山開き」も行われます。どちらの行事も、猿ヶ石川上下流に暮らす多くの方々が、交流を深める場となることを願って企画されたもの。